

関係各位

(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会  
第10回フォーラム「協賛」についてのごお願い及び会員募集

謹啓 貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックの裏で、予防・治療を謳う偽造品や詐欺品が世界中で出回り国際的な規制当局は警戒、取締を強化しています。偽造問題は医薬品に留まりません。新型コロナウイルス下で拡大した電子商取引(EC)により現物を確かめずに購入する品物や機会が増え、様々な企業にとって偽ブランド品などの模倣品対策が急務となっています。新型コロナと全力で闘っている人々の裏で、偽造品はインターネットなどの手段を通じ日常生活に忍び込み、特に命に直結する医療関係者の懸念は一方ではありません。

かつて偽造医薬品は医薬品の普及が不十分な国や地域において感染症治療薬や抗寄生虫薬を主たるターゲットとしたものであり、先進国では一部の人々に使用される美白や筋肉増強を目的とする生活改善薬に限られると考えられていました。しかし、21世紀を目前にしたころからED治療薬やさらに重篤な疾病の治療薬の偽造品が出回り、偽造医薬品をグローバルな問題として欧米も警戒を高め、偽造医薬品に強力に取り組む法改正が行われました。日本でも2017年に抗C型肝炎ウイルス薬ハーボニー®の偽造品が正規流通経路を通じて患者にまで渡ってしまった事例が発生し、省令改正等の対応策が講じられました。日本の製薬会社により開発された抗がん剤の偽造品が海外で流通していた事例も発生しています。また、個人輸入により、恒常的に偽造医薬品は日本人の手に渡っています。日本も決して、偽造医薬品から免がれている訳ではありません。これに対し、国内の製造、流通段階の取締りや水際対策が当局により講じられるとともに、関係各社においても社内体制の整備・強化が図られています。規制・取締・司法、関係団体などの国際的連携による偽造医薬品への果てない強力な取り組みが必要とされています。

平成25年3月に開催された日本薬学会のシンポジウム「偽造医薬品の最前線-忍び寄る脅威との戦い」において、偽造医薬品に関わる規制当局、国際的取締機関、製薬企業、防止技術開発企業、アカデミアが一堂に会し、偽造医薬品の実態と対策について議論致しました。このシンポジウムの成功から、偽造医薬品への継続的取り組みが必要と考えられ、製薬企業、流通業界、防止技術開発企業、アカデミア、公的セクター等がオープンに議論し、情報交換し、偽造医薬品防止技術の開発・利用の促進に資するとともに世界とも連携することを目指して、日本薬学会シンポジウムのオーガナイザーが中心となり、平成25年9月2日に一般社団法人医薬品セキュリティ研究会としてスタートしました。

平成25年第1回フォーラム「偽造医薬品と闘う技術の最前線」を皮切りに、第9回フォーラム(令和3年8月)「コロナ禍における偽造医薬品の脅威」まで毎年、官公庁、国際機関、製薬企業、流通関連企業、技術開発企業、第三セクター、アカデミアそれぞれの立場から取り組みをご紹介頂き、意見交換や協力醸成が行われました。

第10回は「サステナビリティ実現のための偽造医薬品対策」と題し、SDGsやESGの達成に不可欠であることから、長びくコロナ禍で勢いが増す偽造医薬品の駆逐についてご経験、ご見解を交換し防御・対策の強化にお役に立つことを図っております。

本フォーラムを更り多きものにするために、皆様の積極的なご参加及び、各社、各団体におかれましては、何卒第10回医薬品セキュリティ研究会フォーラムに対してご協賛を賜りますようお願い申

し上げます。

本研究会の活動を継続的なものにするために、医薬品セキュリティ研究会の会員募集を引き続き行い、会員間の情報共有、偽造医薬品対策のレベルアップを目指して参りますので、奮ってご参加いただけますようお願いいたします。

謹白

<医薬品セキュリティ研究会 フォーラムの軌跡>

- 第1回 2013年9月9日  
「偽造医薬品と闘う技術の最前線」
- 第2回 2014年4月18日  
「偽造医薬品と闘う技術の最前線2 ―真贋判定技術に求められる要件とは―」
- 第3回 2015年4月14日  
「医薬品の流通セキュリティの課題と今後」
- 第4回 2016年9月16日  
「グローバル流通する偽造医薬品との闘い」
- 第5回 2017年8月25日  
「安全神話の崩壊」
- 第6回 2018年10月19日  
「止められるか、偽造医薬品と不正流通」
- 第7回 2019年8月30日  
「世界の医薬品セキュリティの動向」
- 第8回 2020年10月23日  
「With コロナの時代の偽造医薬品対策」
- 第9回 2021年8月20日  
「コロナ禍における偽造医薬品の脅威」

令和4年7月吉日  
(一般社団法人) 医薬品セキュリティ研究会  
代表理事 木村 和子  
(金沢大学名誉教授、特任教授)